

まちの「今」をお届けします

デジタルデバイドの解消に向けて スマホ教室を開催

市では、コンピューターやインターネット等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人の情報格差(デジタルデバイド)の解消に向け、総務省の補助事業を活用し、市内の公民館8か所、それぞれ全5回の日程でスマホ教室を開催しました。国では、デジタル技術に利用される二進数の数字「1」と「0」にちなんで今年の10月10・11日を「デジタルの日」と定めており、11日には有帆公民館で、3回目となる教室が開催されました。15人の受講者が参加したこの日のテーマは「LINEのビデオ通話」。受講者らは、教室の開催に協力している山口テレコム(本社宇部市鍋倉町)のスタッフから手ほどきを受けながら、ビデオ通話の方法を学びました。市デジタル推進室では、今後も教室の開催等を通して“誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化”を進めていきます。



スタッフとビデオ通話で会話する参加者



創立50年記念「'21日本のガラス展」巡回展 ギャラリートーク開催

10月10日、不二輸送機ホール(文化会館)でガラス展に関連してギャラリートークを開催。ガラス作家の西悦子さんにより、ガラスの歴史や製法についての講話や展示作品を鑑賞しながらの作品紹介が行われました。ガラス展は12月20日(月)まで開催されます。ぜひご覧ください。



百人一首でふれあいの輪を広げる 小中高かるた交流会

10月12日竜王中学校で、同校1年生、赤崎・本山小学校6年生、松原分校の児童生徒と、小野田高等学校かるた部員ら約170人によるかるた交流会が開催されました。かるた部員による競技かるたのデモンストレーションの後、中学生対小学生、かるた部員対小中学生で対戦し、かるたを通じて交流を深めました。